

III 離床を行うまでの基礎技術

III -6. フィジカルアセスメント（消化器状態）

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
□III-6.1 視診	□III-6.1.1 腹部の視診で評価できることについて理解している	□ 腹部の視診で評価できることについて説明できる	J-07 フィ実 フィジ P107-P108		○
	□III-6.1.2 腹部の視診の方法について理解している	□ 腹部を視診にて評価できる	J-07 フィ実 フィジ P107-P108		○
□III-6.2 聴診	□III-6.2.1 腹部の聴診位置と病変部位について理解している	□ 腹部の聴診位置と病変部位を確認できる	J-07 フィ実		○
	□III-6.2.2 聴診部位について理解している	□ 聽診部位を確認できる	J-07 フィ実 フィジ P108		○
	□III-6.2.3 聴診器を適切に選択することができる	□ 腸雜音を聴取できる	フィジ P108-P109		○
□III-6.2.4 適切な聴診方法について理解している	□腹部を聴診にて評価できる		J-07 フィ実		○
	□1分間の腸蠕動音の聴取から病態を推察することができる		J-07 フィ実 フィジ P108-P109		◇
	□III-6.2.5 腸蠕動音とその特徴について理解している				◇
	□腹部を聴診にて評価できる				○
□III-6.3 打診	□III-6.3.1 腹部の打診により得られる異常打診音について理解している	□ 腹部の打診により得られる異常打診音について説明できる	J-07 フィ実 フィジ P109-P110		◇
	□III-6.3.2 腹部の打診方法について理解している	□ 腹部の打診方法について説明できる	J-07 フィ実 フィジ P109-P110		◇
	□III-6.3.3 腹部の打診による消化器官について理解している	□ 打診する順番について説明できる	フィジ P109		◇
□III-6.4 触診	□III-6.4.1 腹部の触診位置と病変部位について理解している	□ 腹部の触診位置と病変部位について説明できる	J-07 フィ実 フィジ P109-P110		○
	□III-6.4.2 腹部の触診方法について理解している	□ 腹部を触診にて評価するための観察準備ができる	J-07 フィ実 フィジ P111		○

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
		<input type="checkbox"/> 触診する順番について説明できる			○
		<input type="checkbox"/> 浅触診・深触診の技術を用いて、腹部の状態を確認ができる			◇
		<input type="checkbox"/> 腹部の異常を触診を用いて確認できる			◇
	□III-6.4.3 腹部の触診時における筋性防御について理解している	<input type="checkbox"/> 筋性防御について確認ができる	J-07 フィ実 フィジ P111-P112		◇
	□III-6.4.4 腹部の触診時における反跳痛について理解している	<input type="checkbox"/> 反跳痛の有無について確認できる	J-07 フィ実 フィジ P111		◇

大項目	中項目	小項目	確認印
/ 4	/ 14	/ 19	

中項目の点数はP153に転記して下さい